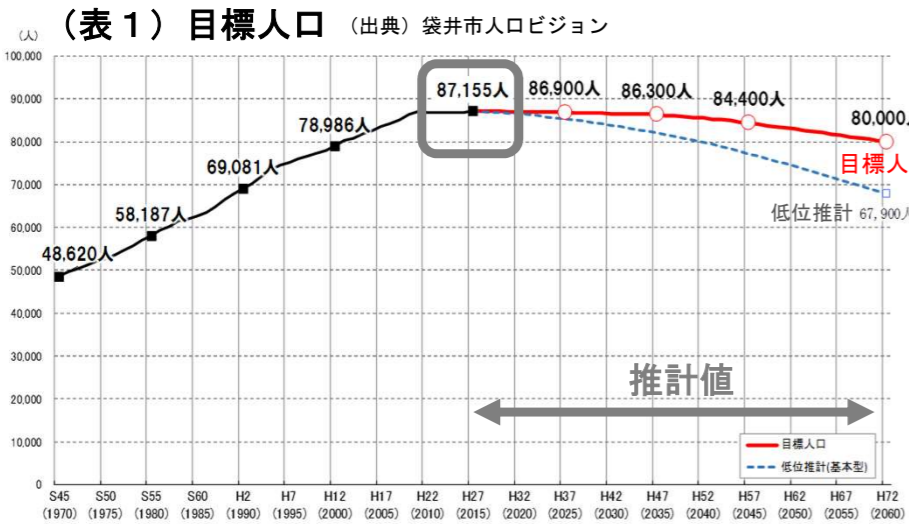


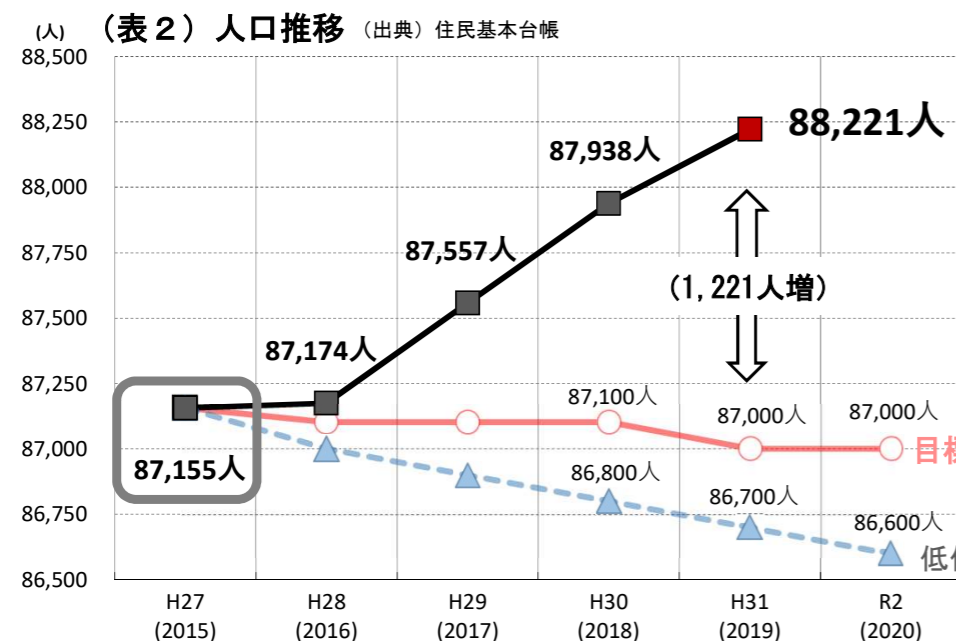
平成31年4月1日現在の袋井市人口は88,221人であり、目標人口を上回るなど人口確保の面では安定している。他方、子育て世代の転出超過や外国人市民の増加、女性の社会進出をはじめ、多死社会の到来や単身高齢者の増加など、人口の構造的な変化への適応が課題。

1 目標人口と人口推移



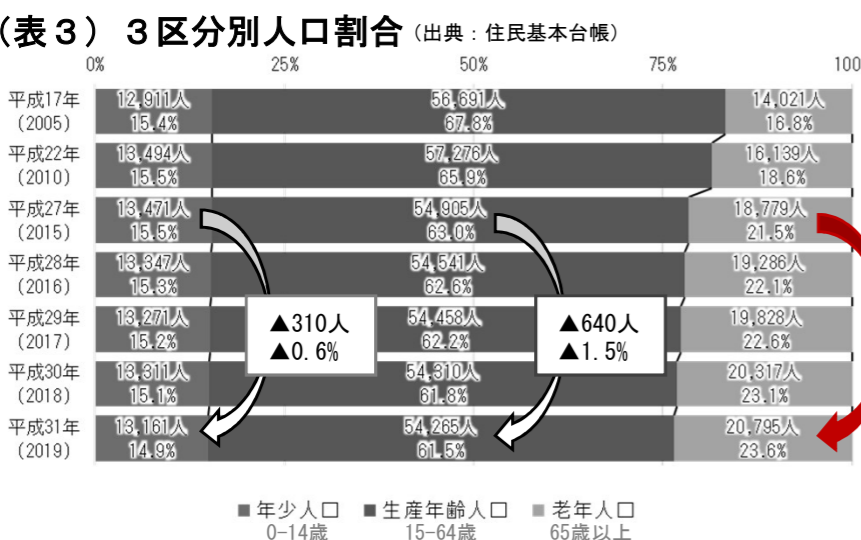
市人口ビジョン
目標：2060年8万人維持
 【達成（設定）条件】
 ▶ 合計特殊出生率 2030年～2060年「2.07」
 ▶ 子育て世帯の転入出 2020年～2060年「±0」

[参考] 低位推計（2060年67,900人）
 合計特殊出生数、子育て世帯の移動が、「現状のまま」の場合の推計値。
 ▶ 合計特殊出生率 2015年～2060年「1.72」（H21-25平均）
 ▶ 子育て世帯の転入出 2015年～2060年「▲60世帯/年」（H22-27平均）



○人口は増加傾向
 (対H27年比+1,066人)
 ○目標人口を上回る
 ○伸び率はやや鈍化

2 年齢構成



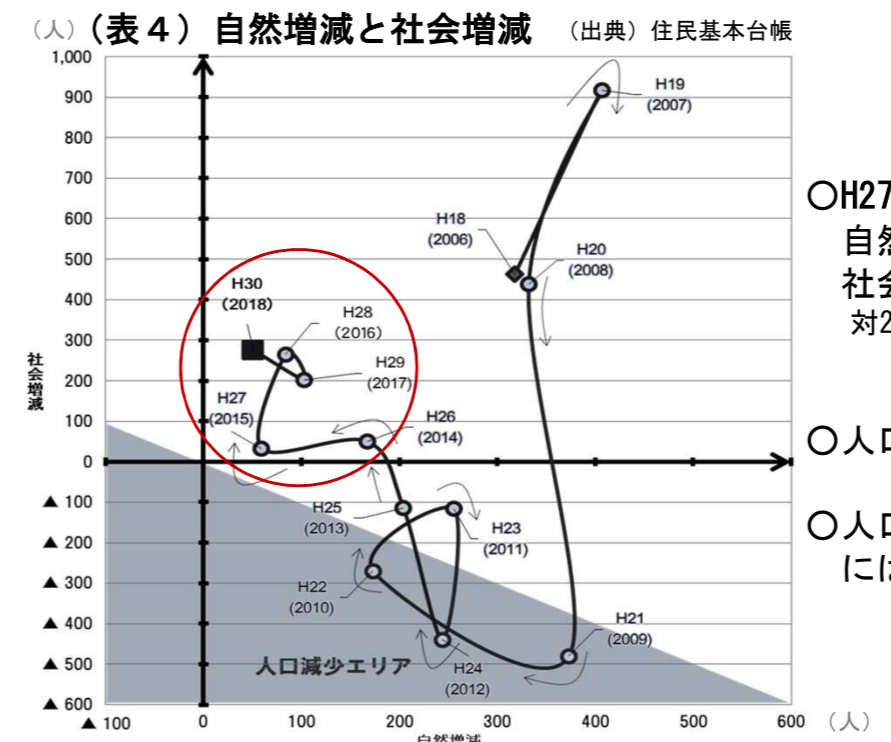
○年少人口と生産年齢人口が減少
 対H27年比
 年少人口▲310人、比率▲0.6ポイント
 生産年齢人口▲640人、比率▲1.5ポイント

○高齢化率 23.6%
 高齢化率は県内23市で最も低いが、高齢化は着実に進行している。
 袋井市 H27:21.5% → H31:23.6% (+2.1%)

近隣市町の高齢化率推移
 掛川市 H27:24.4% → H31:26.7% (+2.3%)
 磐田市 H27:25.3% → H31:27.8% (+2.5%)
 菊川市 H27:24.6% → H31:26.5% (+1.9%)

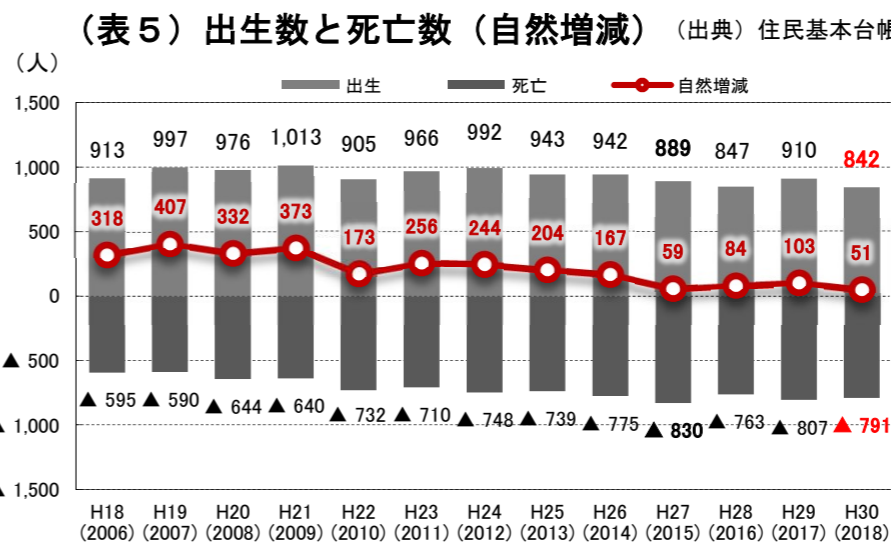
少子
 高齢化

3 自然増減と社会増減



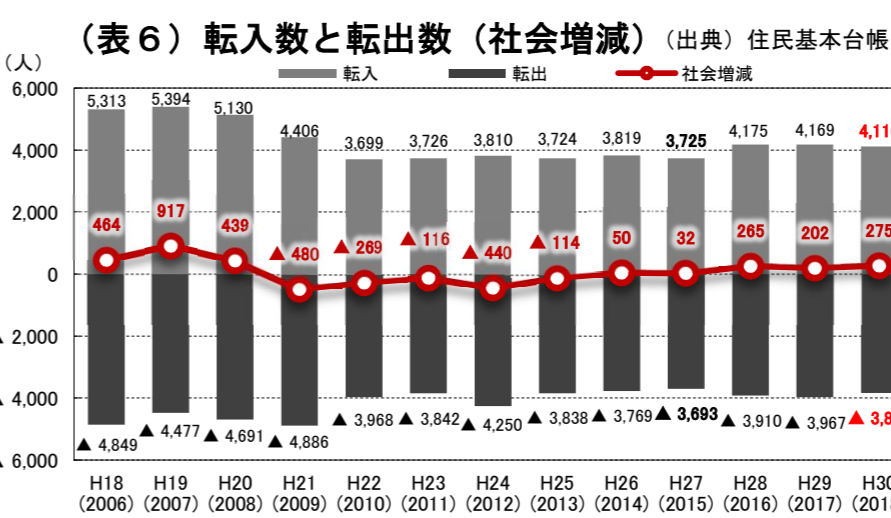
○H27→H30はすべて人口増加
 自然増減は減少傾向。
 社会増に支えられている。
 対27年比 自然増減：▲7人
 社会増減：+243人
 ○人口減少エリアに近い状況が継続。
 ○人口の構造的なバランスを保つためには、自然増をいかに増やすかが重要。

人口減
 間近



○出生数が、再び800人台に減少
 (対H29年比▲68人、対H27年比▲47人)
 ○死亡数はほぼ横ばい
 (対H27年比▲39人)
 今後、団塊の世代の高齢化により、死亡数の増加が見込まれる。

出生数
 減少



○転入者が増加
 (対H27年比+385人)
 外国人の転入増加が下支え
 (参考: H27→H31外国人+1,352人)

○転出者数も増加
 (対H27年比▲142人)
 転出者の大半は近隣市町へ転出

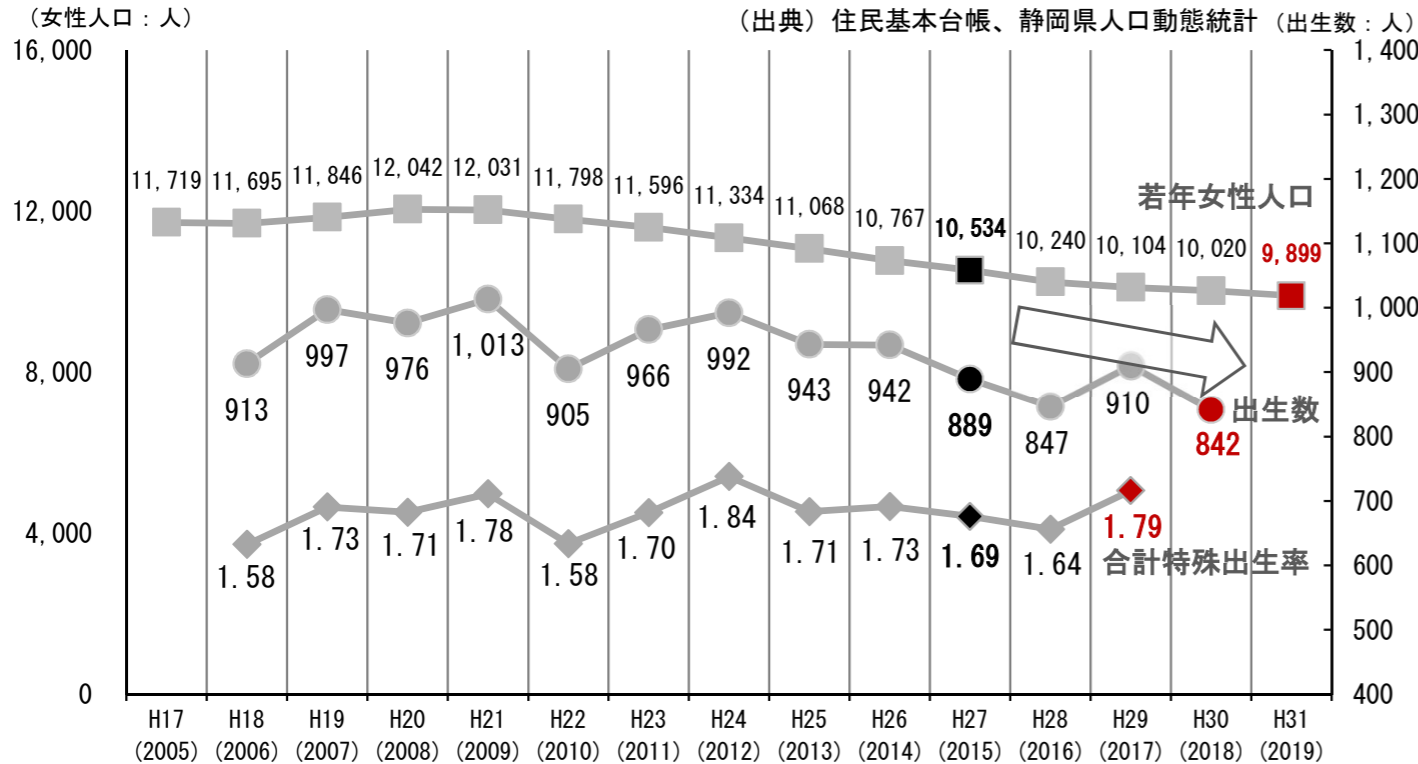
転入者
 増加

4 出生に関する状況

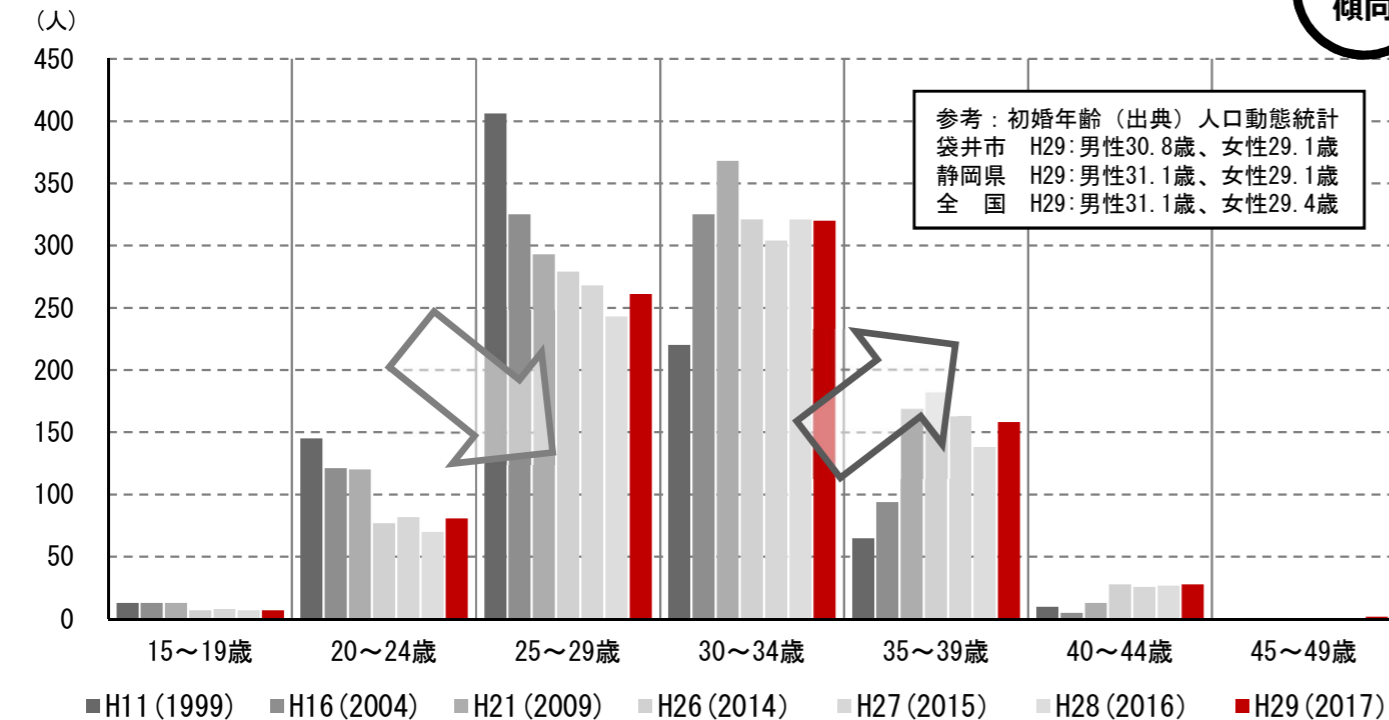
若年女性減少

- 若年女性人口が減少（対H27年比▲635人）2008年をピークに11年連続減
- 若年女性人口の減少に伴い出生数も減少傾向
- 合計特殊出生率は1.79と回復している（対H27年比+0.1ポイント）
- 初婚年齢は低いものの出産数ピークは30～34歳と、晩産傾向が続く
晩産傾向により、第2子、第3子の出産に影響しているものと推測される。

(表7) 若年女性(15～45歳)人口、出生数、合計特殊出生率



(表8) 母親の5階級別出生数



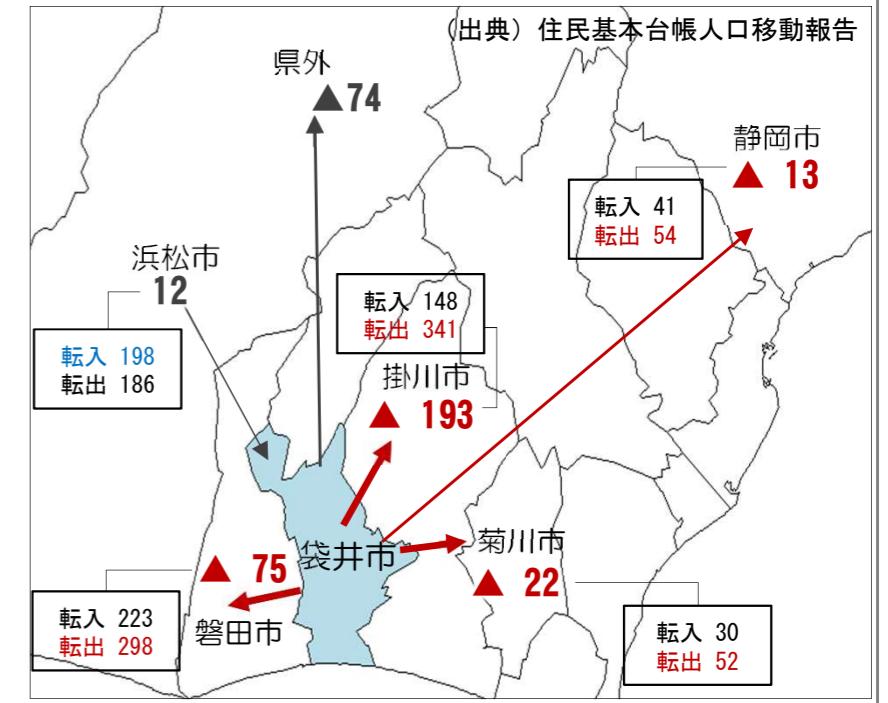
晩産傾向

5 子育て世代の動向

子育て世帯 転出超過

- 子育て世帯の近隣市町への転出超過が続く
- 一方で、20歳～35歳は転入超過

(図1) 子育て世帯(0～9歳)の近隣市町等への転出入状況(H27～H30)



(表9) 5歳階級別人口増減人数

年齢	H26	H31	増減
0～4歳	4,654	4,153	-
5～9歳	4,516	4,494	▲160
10～14歳	4,373	4,514	▲2
15～19歳	4,076	4,374	1
20～24歳	4,269	4,368	292
25～29歳	5,491	4,849	580
30～34歳	6,260	5,748	257
35～39歳	6,666	6,187	▲73
40～44歳	6,648	6,509	▲157
45～49歳	5,252	6,559	▲89
50～54歳	4,961	5,286	34
55～59歳	5,474	4,945	▲16
60～64歳	6,242	5,440	▲34

6 他市町との比較

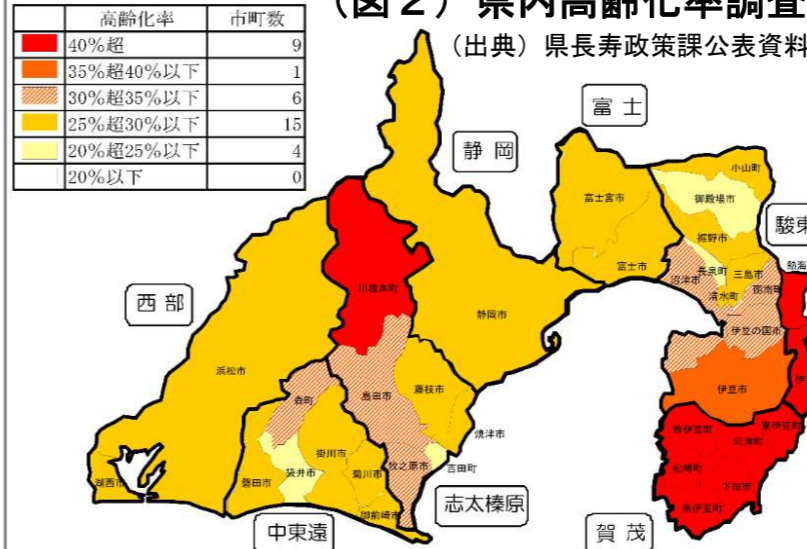
- 人口増加人数…県内第1位
- 人口増加率…県内第2位
- 30市町が人口減少。増加は3市2町のみ
- 高齢化率は23.6%。県内23市で最も若いまち

(表10) H31県人口推計とH27国勢調査比較

順位	市町	増加人数(人)	増加率(%)
1	袋井市	1,026	1.4
2	長泉町	600	1.2
3	菊川市	555	1.2
4	掛川市	473	0.4
5	清水町	10	0.0

順位	市町	減少人数(人)	減少率(%)
1	静岡市	-12,795	-12.9
2	浜松市	-6,337	-10.6
3	沼津市	-6,026	-8.5
4	富士市	-3,371	-7.7
5	伊東市	-2,638	-6.9

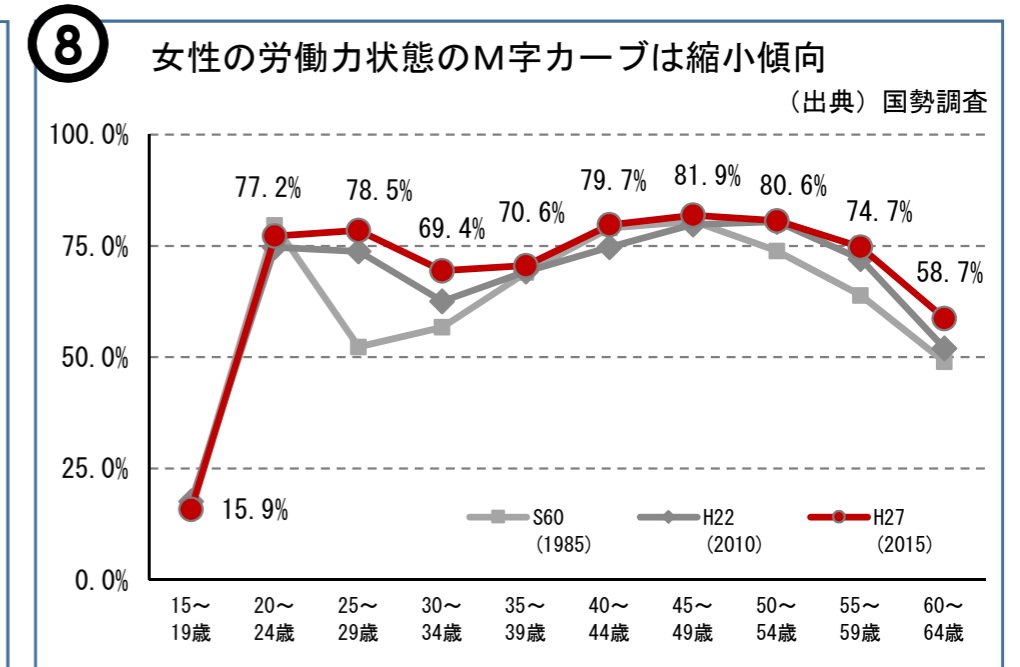
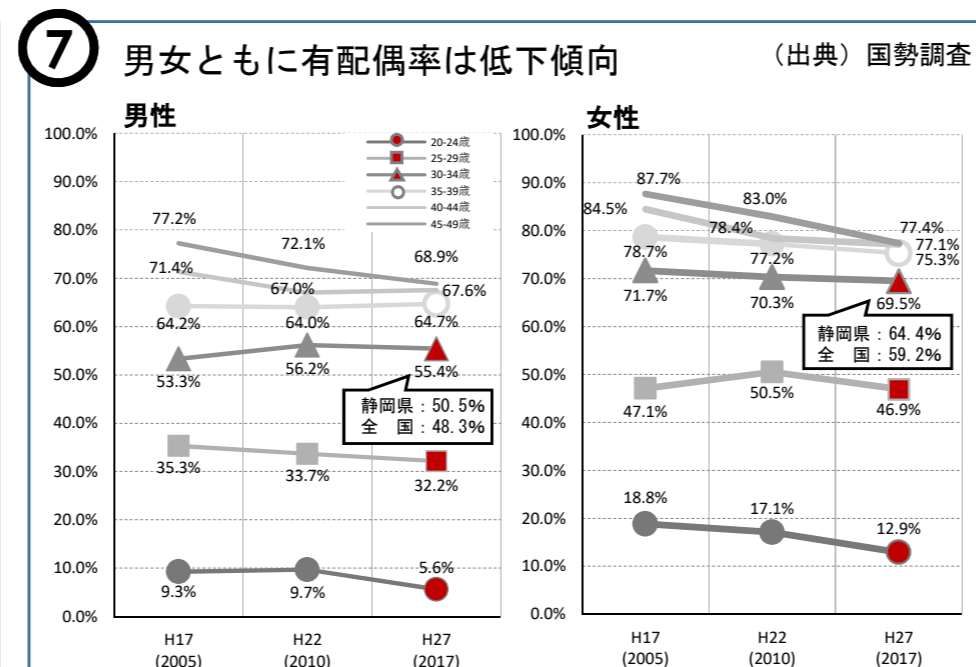
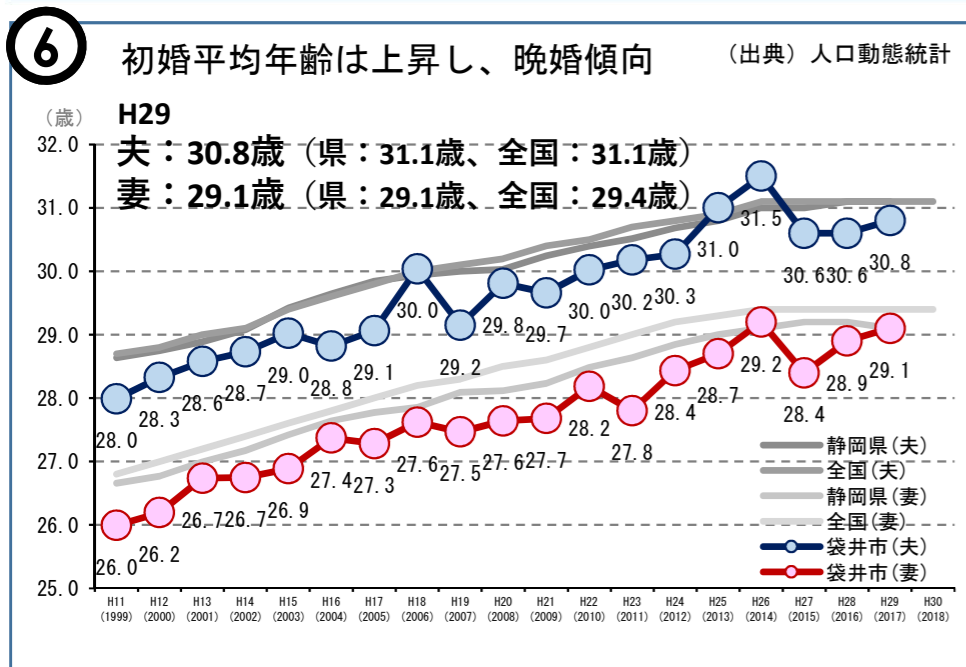
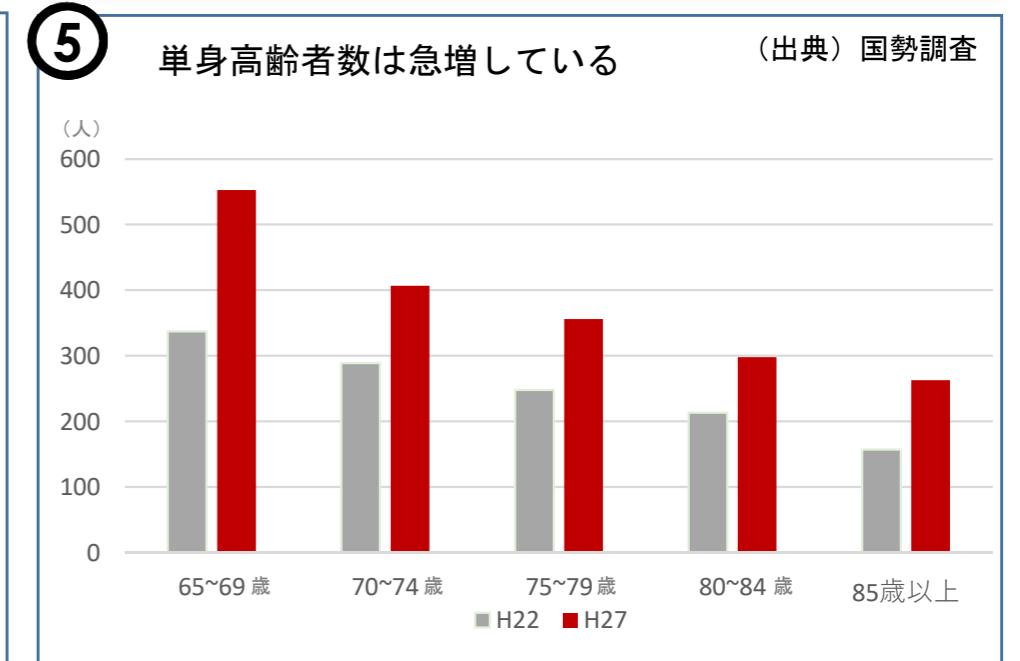
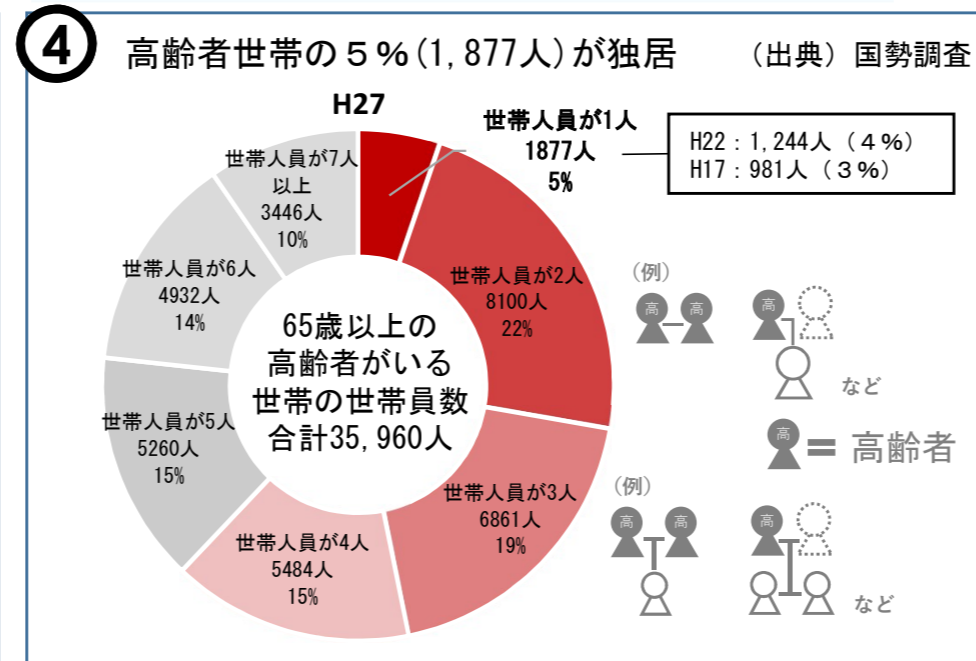
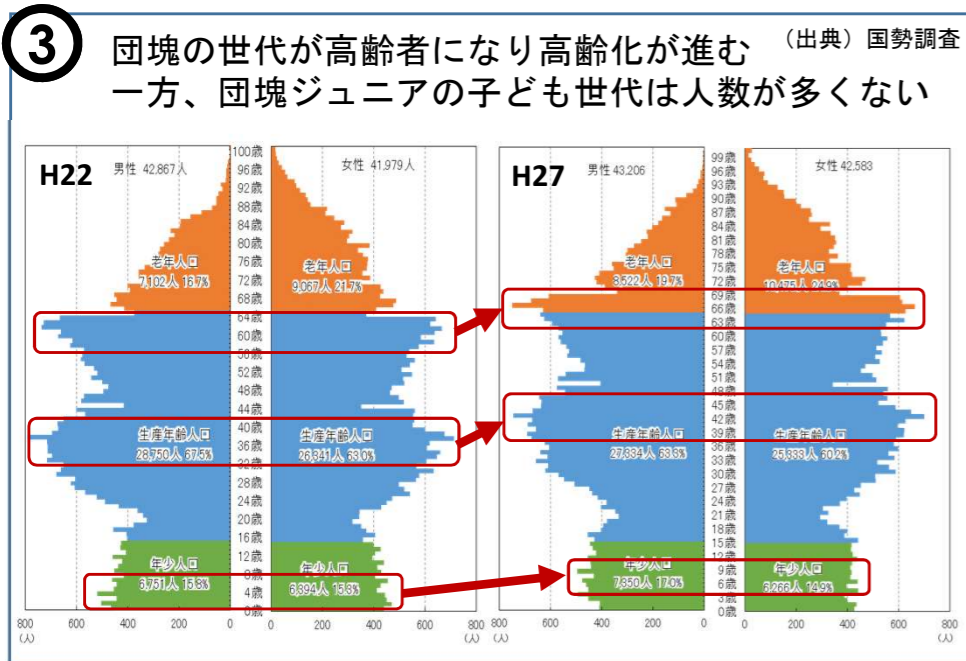
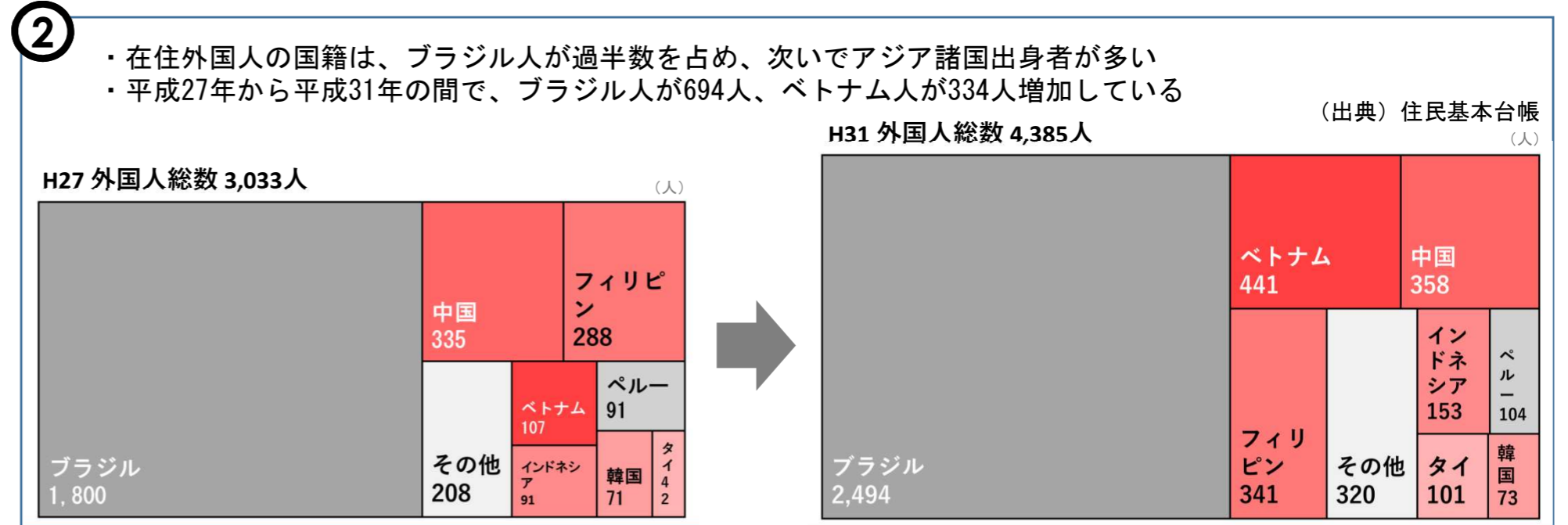
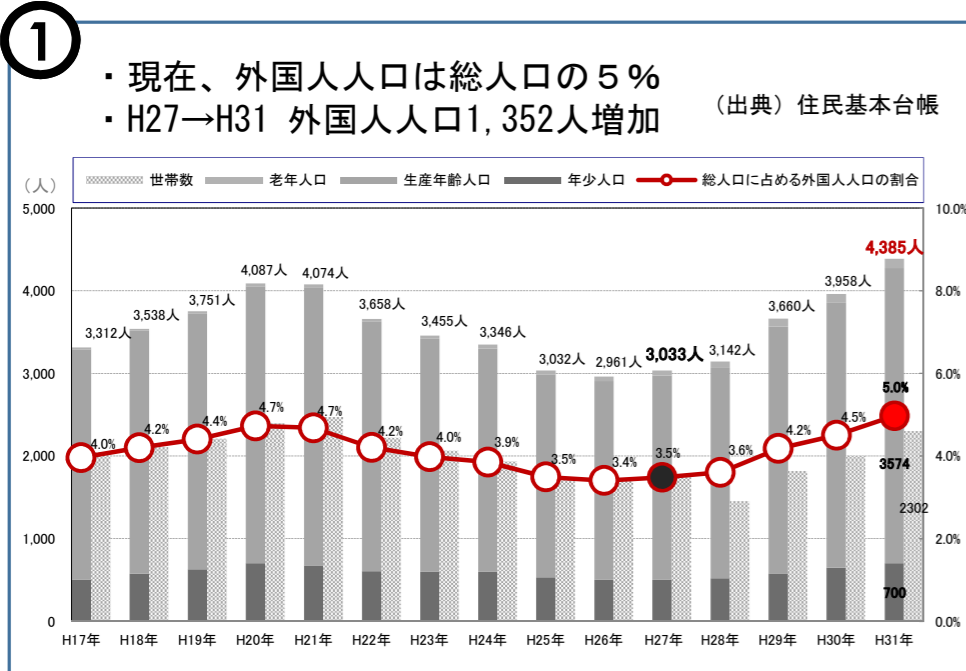
(図2) 県内高齢化率調査



静岡県	29.1%
袋井市	23.6%

2015年国勢調査等から見る袋井市の人口動態 I

主に平成27年度の国勢調査結果のほか、本市住民基本台帳などから本市の人口等に関するトレンドをつかむためのグラフを作成した。



2015年国勢調査等から見る袋井市の人口動態Ⅱ

主に平成27年度の国勢調査結果のほか、本市住民基本台帳などから本市の人口等に関するトレンドをつかむためのグラフを作成した。

